

氏名	国 塩 勝 三
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	博 乙 第 2197 号
学 位 授 与 の 日 付	平成 2 年 12 月 31 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	正常脳および脳腫瘍における transthyretin 局在に関する免疫組織化学的検索 — Choroid plexus papilloma および ependymoma を中心とした光顕および電顕的検索—
論 文 審 査 委 員	教授 徳永 勲      教授 森 昭胤      教授 庄盛敏廉

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳室脈絡叢において産生される transthyretin (TTR) に対する抗血清を用いて正常脳組織および脳腫瘍における TTR の局在を免疫組織化学的方法を用いて検索した。さらに脈絡叢乳頭腫 (CPP) および ependymoma において抗 glial fibrillary acidic protein (GFAP) 抗体, 抗 cytokeratin (CKER) 抗体を用いた免疫組織化学的検索を行ない, TTR に対する反応性と比較検討した。

TTR 陽性反応は中枢神経系では脳室脈絡叢上皮細胞に, 脳腫瘍では CPP に認められ, 他の脳腫瘍では陽性反応はみられなかった。両者とも陽性反応は細胞質にみられ, 電顕的検索では TTR 陽性反応は分泌顆粒に相当してみられた。

CPP 11 例中 5 例に GFAP 陽性反応がみられ, 陽性細胞の多くは CKER 陽性で, TTR には陰性であった。さらに TTR 染色性と GFAP 染色性とは逆相関の傾向がみられた。Ependymoma において, GFAP 陽性反応は 19 例中 16 例に認められ, GFAP と CKER との両者に陽性の腫瘍細胞が存在したが, TTR には陰性であった。

以上より TTR は中枢神経系では CP および CPP のマーカーとして有用であり, CPP においても CP と同様 TTR が産生されている可能性が示唆された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は正常脳組織および各種脳腫瘍におけるトランスサイレチン (TTR) の局在を免疫組織化学的に検索したものである。TTR 免疫反応は正常組織では脈絡叢上皮細胞に, 脳腫瘍では脈絡叢乳頭腫 (CCP) の腫瘍細胞の分泌顆粒に一致して認められた

が、CCPと鑑別が困難となる乳頭上衣腫ではTTR免疫反応は陰性であった。本研究はTTRがCCPにおいても産生されている可能性を示し、さらにCCPのマーカールとして病理組織診断に有用である事を見出したものとして価値ある業績であると認める。よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。